

全 員 協 議 会 記 録

令和6年8月19日（月）
10時00分～10時41分
全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長

肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、村武議員、川上議員、
柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、
永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

久保田市長、砂川副市長、岡田教育長、山根総務部長

〔事務局〕 下間局長、松井次長、大下書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 浜田市行財政改革実施計画（令和5年度実績・令和6年度計画）について（総務部）
- (2) その他

2 一般質問における議員の「説明用補助資料」の使用について

3 行政視察レポートについて

- (1) 福祉環境委員会

4 議会による事務事業評価の試行について

5 その他

- (1) 自由討議について
- (2) その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

〔 10 時 00 分 開議 〕

○議長

ただいまから令和6年8月19日の全員協議会を始める。それでは議題に入る。

1 執行部報告事項

(1) 浜田市行財政改革実施計画（令和5年度実績・令和6年度計画）について

○議長

総務部長。

○総務部長

（ 以下、資料を基に説明 ）

○議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

○三浦議員

行革で特に進んでないと個人的に思っているのはD Xだと思っている。近年、行政サービスの効率化や、もっと利便性の高い市民サービスへシフトするためのプラットフォームが開発されたり、それが安価に提供されるようになったり、大項目の中でもこの部分は民間からのサービス提供状況も大きく変わっている。それに応じて行政の計画も、項目を定めているので期間内に項目の追加や再考はなかなか難しいところもあると思うが、とはいえD Xは行革内でも一番に考えていくべき項目だと思う。

令和6年度の計画を報告いただく中で、その分野についてどのように担当部局として捉えているか。

○総務部長

言われるとおり、行政においてD Xを進めるのは大きな課題であると思っている。実際に私の印象としても、浜田市のD Xは決して進んでいる状況とは言えない。

来年度当初予算の中でもD Xを進めるための予算を一定額確保したい。以前少し話をさせてもらったことがあるが、職員提案という形でD Xに特化した提案を今募っている。またそれを進めるに当たっては、担当部署だけでなくプロジェクトチームを立ち上げて若手職員に立候補してもらい、その中でいろいろなアイデアを募り、通常業務にどうやったら落とし込めるかをしっかりたたいてもらいたいと思っている。アイデアを集め、予算を確保し、実際に事業化するための人員確保まで総合的に考えながらD Xを進める必要があると思う。新しい提案の中で実現できそうなものは積極的に取り上げていきたい。場合によっては項目に追加して進捗管理をすることも必要かと考えている。いずれにせよD X推進は喫緊の課題だと考えている。全庁的に進めていく必要がある。

○三浦議員

場合によっては項目を追加する可能性があるとのこと。D Xに限らず行革が進む

よう、現状を踏まえながら適切な計画、その遂行をしてもらいたい。

D Xに関してだが、各部局がそれぞれ担当しているサービスを最適化するためにアプリを導入するなど、結果的に部分最適になると費用対効果が一番悪くなる。

最近会派でも近隣自治体を視察して、県内自治体で導入されているプラットフォームなどを勉強している。そうしたものが全庁的にアプリやプラットフォームを導入することによって、それぞれ担当しているテーマ内でどのように活用できるか提案もしやすいと思う。それを若手職員や各部局に投げてしまうと、実装時にそれぞれ異なったものが生まれてきたり、費用が大きくなる可能性も考えられる。それを考えるのもD Xだと思う。こういった部局が担当するかは少し考える必要もあるかと思うが、今報告されている行革の中に全体を統括するような視点を持ってD Xを進めていくという旗印を明確にする。これは市長や副市長のリーダーシップも必要だと思うが、旗印を明確にして全庁的に横断的にD Xが推進できるような体制をぜひ整えられたい。

○議長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(2) その他

○議長

執行部からほかに報告事項があるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上で議題1を終わる。

2 一般質問における議員の「説明用補助資料」の使用について

○議長

資料を参照されたい。このことについては7月2日の議会運営委員会において実施が決定した。先般、3常任委員会終了後に議員にも資料発信操作方法等の説明を行った。また、執行部におかれても本日の庁議において局長から実施の報告がなされたと思う。補助資料については、これまでの一般質問時におけるパネルの使用と同様、議員の質問時の発言を補完するための資料であることに変わりはない。

議会は言論の府であることを念頭に置き、議員におかれては資料を使用する場合の発言は、文字として会議録に残ることを意識して使用資料の内容が伝わるよう、発言に留意をお願いしたい。

なお、補助資料を使われる議員は、一般質問の4日前までに事務局へ、資料データの送付をお願いしたい。内容については議長と事務局とで確認し、議会初日には執行部へも情報提供するようにしたいと考えている。議会当日は、議場の各執行部席にタブレット端末を配置し、議員が発信する資料を閲覧できるようにするので、よろしく願います。

この件について質疑等はあるか。

(「なし」という声あり)

3 行政視察レポートについて

(1) 福祉環境委員会

○議長

先般、福祉環境委員会が行政視察を実施した。視察先で得た先進的な取組や知見等を他の議員や執行部と共有することで、行政視察レポートとしてまとめられたので報告していただく。福祉環境委員会、肥後副委員長にお願いします。

○肥後議員

(以下、資料を基に説明)

○議長

報告が終わった。何か質疑等はあるか。

(「なし」という声あり)

では、執行部はここで退席されて構わない。

(執行部退席)

4 議会による事務事業評価の試行について

○議長

9月定例会議の令和5年度決算審査において、議会における事務事業評価を試行的に実施することを議会改革推進特別委員会で確認されている。各会派にて了承されている案件ではあるが、内容について牛尾委員長から説明をお願いします。

○牛尾議員

現在、当特別委員会では市政に対する監視機能を強化し、決算審査の充実を図る手段の一つとして「議会による事務事業評価」の導入について検討を進めており、その状況は随時各会派へ持ち帰っていただいている。

本格導入に向けた試行を今回の9月の決算審査に併せて行うことに、各位同意いただいていることを確認しているので、本日は試行の概要を資料に沿って説明する。

1、全議員に係る試行内容についてである。

まず、8月30日の9月定例会議初日の3常任委員会にて、今回評価を試行する事業を選出していただく。なお、委員会の議題にはせず、各3常任委員会終了後に当特別委員会の委員を中心に協議を進めていただければと思う。

また、今回は各委員会1事業とさせていただく。今後、事務事業評価を行う際の事業数については、今回の試行を踏まえて決定したい。

次に、9月9日の予算決算委員会終了後に、全議員で確認の上、今回の事務事業評価試行の3事業を決定する。事務事業評価の実施主体は予算決算委員会を想定しているので、全体に係る進行は予算決算委員長の布施議員に担っていただく。

9月19日から25日は予備日を含め決算審査である。ここでは決定した事務事業につ

いて、評価を行うに当たって確認しておきたいことを、各自通告の上、質疑していただくようお願いする。

そして、評価シートの提出締切を9月25日の午後3時とする。事前に全議員がそれぞれの評価内容を確認する時間を設けるためなので期限厳守をお願いする。なお、記入していただく評価シートは1ページ目下の様式を想定している。

最後に、決算審査の進行具合にもよるが、9月27日に評価意見書の作成を行う。後ほど詳しく説明する。

そして試行終了後には課題や感想などを提出していただき、今後の特別委員会での検討材料とさせていただく。

以上が、全議員にお願いしたい試行内容である。

続いて、2、想定様式である。

(1)の評価シートは先ほどの説明のとおりである。2ページ目の※1が評価区分の詳細である。次の※2は評価シート記入時に参考にされたい。

(2)は評価意見書の様式である。こちらを3常任委員会ごとの各グループに分かれて作成していただく。

最後に、3、試行詳細スケジュールについてである。

先ほど説明した内容を含め、スケジュール感が分かるよう表にしている。9月27日の流れについて詳しく説明する。

必要に応じて附帯決議を付けることになるかと思うが、今回は事務事業評価を試行するので9月27日もご参集願う。まずは、当日の流れを確認し、各グループに分かれて評価意見書を作成する。グループとは、総務グループ、福祉グループ、産業グループを想定しており、各グループの構成員はそれぞれ、総務文教委員、福祉環境委員、産業建設委員となる。第1委員会室から第3委員会室に分かれ、各グループ同時に評価意見書を作成する。

ここまでの決算での質疑や全議員が提出した評価シートを踏まえ、各グループのメンバーで作成されたい。各グループの評価意見書の作成が完了したら、再び全議員で集まり、評価意見書を読み上げの後、文言調整し、評価意見書を全体のものとして仕上げる。

ここで、今回は試行なので、しっかりとした評価意見書が作成できた場合は、予算決算委員会を再開し附帯決議へ盛り込むことを検討する。

本格導入の際には、本会議にて予算決算委員会提出議案として議会の意思表示を行う想定である。

説明は以上である。質問や確認したい点等あればこの場でも、8月27日に特別委員会を開催予定なので、会派で相談されて俎上に載せていただいても結構である。議員各位のご協力をよろしくお願いします。

○議長

説明があった。何か質疑等はあるか。

(「なし」という声あり)

今回初めてのことなので課題も多くあると思うが、全体で取り組むことなのでより良いものになるようお願いする。

また、この試行を踏まえて今後の方針についても、特別委員会等で検討されたい。

5 その他

(1) 自由討議について

○議長

議員間で自由討議を行う案件が何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、今回は自由討議なしとする。

(2) その他

○議長

議員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなら、私から議長会の報告について。7月11日に全国市議会議長会の特定第三種漁港協議会の監査会、役員会、総会が八戸市で行われた。これについては監査報告も行い、各案全て可決されている。

研修等では八戸の水産業について研修を受けた。八戸も水揚げがかなり減っており、サバとイカのまちだがサバが取れず、境港等々の港にお願いして魚を取り入れているという話もあった。

また、産学官で水産関係のアカデミーをつくり、どうやって水産業を盛り上げていくかの勉強会も行われているという話も聞いた。

7月19日金曜日に、全国水産都市三団体連絡協議会の役員会、定期総会が東京で開催され、これについても全て可決された。講演は藻場の保全・創造とブルーカーボンの取組について水産庁職員から行われたが、浜田市としても取り組めることがあるのではないかと感じた。資料として今回要望書があるので確認されたい。

最後に事務局から2点、事務連絡がある。

○下間局長

まず1点目、決算資料の購入について資料を参照されたい。紙媒体での決算資料を希望される方は事務局で取りまとめ、8月26日の議会運営委員会のときに会派分をまとめて渡す。購入を希望される場合は8月21日水曜日の午後3時までに、料金を添えて議会事務局担当者へ申し出てもらいたい。

なお、資料を付けているが、金額が変わる可能性もある。金額が確定次第LINE WORKSにてお知らせする。購入費は政務活動費の対象となる。

2点目である。議会運営委員会主催の議員研修会について。本日午後1時30分から全員協議会室において開催されるので、議員は時間までに集まってもらいたい。

○議長

何かあるか。

○大谷委員

先ほどの議長からの報告だが、記憶にとどめにくいので、できれば紙で報告いただくと繰り返し状況が理解できる。そういう方向はできないものか。

○議長

了解した。資料を作って配信したい。そのほかにあるか。

(「なし」という声あり)

それでは、以上で全員協議会を終わる。

[10 時 41 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓